

8 対比をとらえよう

プリンター

国語のワーク5・6年生

次の各文の「」には、——を引いた言葉の対義語が入ります。当てはまる言葉を後から選んで書きましょう。

- ① 健太くんはあまり勉強しなかったのが「原因」で、成績が落ちてしまった。それに対して、美保さんは、がんばって勉強した結果、トップの成績をとった。
- ② 美保さんは複雑な算数の問題を解くのは得意だった。しかし、服をたたんだり、くつをそろえたりといった「単純」な日常生活のあれこれは苦手だった。
- ③ 健太くんは、美保さんからのプレゼントを「期待」していたが、美保さんは何も用意していなかったので大いに失望した。
- ④ 軍師である梅三郎は、戦において補給をどうするかを最も重視している。しかし、梅三郎の主君は、いつも補給のことを「軽視」しがちであった。
- ⑤ 鎌倉時代の将軍はほとんど形式的なもので、「実質的」には北条氏が実権を握っていた。
- ⑥ 自然界で生き残るためには、進化することだけが必要とされるわけではない。たとえば、ペンギンは飛ぶ能力を失ったが、水中で泳げるようになった。つまり、ペンギンは生き残るために「退化」したのである。

実質的	退化	悲観的	原因	単純	期待	軽視
-----	----	-----	----	----	----	----

8 対比をとらえよう

プリント2

国語のワーク5・6年生

海のキャンプと山のキャンプ、それぞれを比べて作文を書きました。

「海のキャンプ」

場所について

・目の前に海が広がる。

気を付けること

・風が強く、砂が多い。

「山のキャンプ」

場所について

・緑にかこまれている。

気を付けること

・虫が多い。野生生物に注意。

この作文では、海のキャンプと山のキャンプを同じ観点から比べています。作文の内容は、あくまで両者を比べているだけで、「どちらがよい」という意見までは述べていません。

作文例 「海のキャンプと山のキャンプ」

海のキャンプと山のキャンプではどのような違いがあるでしょう。

まず、場所について比べてみましょう。海のキャンプでは、目の前に海が広がり、そこにいる間はずっと波の音が聞こえてきます。それに対して、山のキャンプは、まわりを草木の緑におおわれることとなります。どちらも気持ちがよくそうですね。

つぎに、キャンプのときに気を付けることを比べてみましょう。海のキャンプでは、風が強いところが多いため、テントをしっかりと固定する必要があります。また、夏の海辺はとても暑いので熱中症対策をした方がよいでしょう。それに対して、山のキャンプは、虫が多いので注意する必要があります。また、場所によってはサルやクマなどの野生生物に出くわす危険もあります。事前によく調べて、キャンプする場所は注意深く選びましょう。

このように、海のキャンプと山のキャンプは、同じキャンプでも大きな違いがあります。楽しいキャンプにするために、事前の準備はしっかりとした方がよいでしょう。

8 対比をとらえよう

プリント3

国語のワーク5・6年生

比べるメモをいくつか作ってみました。次の比べるメモをもとに作文を書いてみましょう。メモの内容を一部使うだけでもかまいません。

〔夏休み〕

長さイベント

- ・一カ月以上あり、長い。
- ・お盆や花火大会がある。
- ・気を付けること
- ・海や川で遊ぶときは事故に注意する。

〔冬休み〕

長さイベント

- ・二週間程度しかなく、短い。
- ・クリスマスと正月がある。
- ・気を付けること
- ・寒いのでかぜをひかないように注意する。

〔えんぴつ〕

- ・何本も用意しなくてはいけない。
- ・折れにくい。
- ・濃さを調節できるが、だんだん太くなる。
- ・芯は常に見えている。

〔シャープペンシル〕

- ・本体と芯だけ用意すればよい。
- ・折れやすい。
- ・濃さも細さも一定である。
- ・いつ芯がなくなるか見えない。

〔お弁当〕

- ・家族や自分がメニューを決めて作る。
- ・好きなものや得意料理を入れられる。
- ・家族の愛情を感じる。
- ・朝早くから準備しなくてはいけない。

〔給食〕

- ・栄養士さんがメニューを決める。
- ・新しい味や料理を体験できる。
- ・みんなが同じものを食べる一体感を感じられる。
- ・準備する必要はない。

8 対比をとらえよう

プリント4

国語のワーク5・6年生

次の作文を読んで、電子辞書と紙の辞書の利点と欠点について、後の表にまとめましょう。

〔電子辞書と紙の辞書〕

電子辞書と紙の辞書はどちらが便利でしょうか。

電子辞書は、サイズが小さくて軽いため、持ち運びがしやすい点が便利です。また、机の上で使うときにも、場所を取りません。これに対して、紙の辞書は、重いので持ち運びがしずらく、机の上で使うときもかなりの場所を取られます。

さらに、電子辞書は、国語辞典や英和辞典など、さまざまな辞書が一つにまとまっていて便利です。これに対して、紙の辞書は国語辞典や英和辞典などは別々になっており、一つの辞書でいろいろなことを調べることはできません。

しかし、紙の辞書も欠点ばかりではありません。電子辞書は、画面が小さく、一度に見ることができている情報が限られているのに対して、紙の辞書では、意味、用法、用例を一度に見ることができず。

また、電子辞書は、電池切れや故障の可能性があるので、紙の辞書では、電池切れや故障の心配をする必要はありません。

このように、電子辞書と紙の辞書はそれぞれに利点と欠点があり、絶対にどちらがよいというのを決めることはできません。自分の使い方や勉強のスタイルに合わせてどちらを使うかを決めるのがよいでしょう。

〔電子辞書〕

利点

- ・持ち運びしやすく、場所をとらない。
- ・いろいろな辞書が一つになっている。

欠点

- ・一度に見ることができている情報が限られる。
- ・電池切れや故障の可能性がある。

〔紙の辞書〕

欠点

- ・持ち運びしずらく、場所を取る。
- ・国語辞典、英和辞典など、別々に引く必要がある。

利点

- ・意味、用法、用例を一度に見ることができきる。
- ・電池切れや故障の心配がない。

8 対比をとらえよう

プリント5

国語のワーク5・6年生

次の作文を読んで、日本とヨーロッパの建築物の違いについて、後の表にまとめましょう。

作文例 「日本とヨーロッパの建築物の違い」

日本とヨーロッパは、地理的にも文化的にも異なる地域ですが、その違いは建築物にも表れています。建築物は、人々の生活や思想、歴史や自然環境などに影響されて形成されます。日本とヨーロッパの建築物の違いにはどのようなものがあるでしょうか。

第一に、日本とヨーロッパでは、建築物の材料に大きな違いがあります。日本では木造建築が主流であるのに対して、ヨーロッパでは石造建築が主流です。この違いは自然環境によって生まれます。日本は温暖な気候で、木材が豊富です。また、地震が多いため、建築物は軽くて弾力性のある木造が適しています。一方、ヨーロッパは寒冷な気候で、石材が豊富です。そして、地震が少ないため、重くて丈夫な石造建築が適しています。

第二に、日本とヨーロッパでは、装飾にも大きな違いがあります。日本の建築は、素朴で自然な装飾を好みます。たとえば、日本の建築では木の柱に装飾をほどこさず、木の素材感をそのまま活かすものが多く見られます。そして、庭は自然の風景を再現するかのよう、石や植物を配置します。これに対して、ヨーロッパの建築は、華やかで人工的な装飾を好みます。たとえば、屋根にドームを付いたり、柱に彫刻で模様を入れたりします。

このように、日本とヨーロッパの建築物には、いくつもの違いが見られます。建築物には、その土地の自然環境と、そこに住む人々の考え方が反映されているのです。

「日本の建築物」

「ヨーロッパの建築物」

材料と構造

・木造建築が主流。

・軽くて弾力性がある。

装飾

・素朴で自然。

材料と構造

・石造建築が主流。

・重くて丈夫。

装飾

・華やかで人工的